



## はじめに

みどりの食料システム戦略（みどり戦略）を策定以降、生産者の皆様や自治体のご担当者様のご尽力により、全国で環境負荷低減の取組が進められており、感謝申し上げます。みどり戦略の実現に向けて、引き続き環境負荷低減の取組を推進する施策を進めてまいります。

本号では、8月29日（金）に開催された第16回みどりの食料システム戦略本部について紹介します。

## テーマ：第16回みどりの食料システム戦略本部を開催しました

みどりの食料システム戦略本部（みどり本部）では、本部長である小泉農林水産大臣（当時）ご出席のもと、みどり戦略に基づく取組の進捗状況を報告するとともに、今後の取組の展開の方向性について議論し、指示を受けました。

[資料等はこちら](#)

みどり本部の様子

## 1 みどり本部の報告内容

### （1）みどり戦略に基づく取組の進捗（一例）

#### みどりの食料システム法

- みどり認定は全国で28,000以上の経営体を認定
- 特定区域を32道府県70区域で認定
- 特定計画を5県7区域で認定

（令和7年7月末時点）

#### 環境負荷低減の取組の「見える化」

- みえるらべる商品が通年購入可能な店舗等が17都道府県へ拡大
- 販売店舗等は累計1,000か所を突破

（令和7年8月1日時点）



サンプラザ  
（大阪府・奈良県）

#### 有機農業

- 有機農業の取組面積は3.45万haへ拡大  
（令和5年度末時点）
- 地域ぐるみで有機農業の拡大を実践する  
オーガニックビレッジが150市区町村へ拡大  
（令和7年8月末時点）
- 278市区町村が学校給食に有機農産物等  
を活用  
（令和5年度末時点）



有機農産物を使用した給食例  
（神奈川県鎌倉市）

#### カーボン・クレジット

- 「水稻栽培における中干し期間の延長」の取組が、37道府県の水田で約50,400haへ急速に拡大。（令和7年3月末時点※事業者からの聞き取り）

### みどりの食料システム戦略の目標と実績値（一部）

|                       | 基準値<br>（基準年）         | 2023年<br>実績値         | 2030年<br>目標      | 2050年<br>目標       |
|-----------------------|----------------------|----------------------|------------------|-------------------|
| 化学農薬使用量（リスク換算）<br>の低減 | 23,330<br>（2019農業年度） | 19,839<br>（約15.0%低減） | リスク換算で10%低減      | 11,665<br>（50%低減） |
| 化学肥料使用量の低減            | 90万トン<br>（2016肥料年度）  | 68万トン<br>（約25%低減）    | 72万トン<br>（20%低減） | 63万トン<br>（30%低減）  |
| 耕地面積に占める有機農業の割合       | 2.35万ha<br>（2017年）   | 3.45万ha<br>（0.8%）    | 6.3万ha           | 100万ha<br>（25%）   |

## (2)今後の取組の展開の方向性

2021年のみどり戦略策定以降、生産現場における環境負荷低減の取組は着実に進んでいます。

一方で、高温や渇水による生産現場への影響が懸念されており、みどり戦略に基づく取組の重要性はこれまで以上に高まっている状況です。みどり戦略に基づく取組を加速化していくため、当面の重要課題に対し、集中的に対応していきます。

### 【当面の重要課題（案）（一部）】

#### ①環境負荷低減に取り組む生産者が経営面でのメリットを実感できる環境整備等を加速化

- みどり認定に基づく新たな環境直接支払交付金の創設
- みどり認定者への補助事業の優先採択の推進
- 環境配慮のチェックの推進
- J-クレジットの活用推進・需要の創出などによる環境負荷低減の取組の資金化

#### ②持続性・発展性の高い有機農業の実現に向け、産地形成と流通・消費との連携を加速化

- 有機農産物に対応した加工・流通体制の整備

#### ③生産現場と調達、加工・流通、消費との連携強化と、幅広い分野からの民間投資の呼び込み

- 「みえるらべる」の普及・対象品目の拡大



見る × 選べる  
みえるらべる

#### ④気候変動により厳しさを増す環境下においても安定した食料生産を行う

- 高温障害に強い品種の開発・普及
- スマート農業技術の活用を含めた気温上昇等の環境変化に適応する技術の普及等



**2030年までを目途に集中的に推進すべき施策を**

**「みどりGX推進プラン（仮称）」としてとりまとめます。**

取組の進捗・  
今後の展開の  
詳細はこちら

## 2 アグリビジネス創出フェア2025に出展します！

11月26日（水）～28日（金）に東京ビッグサイトで開催されるアグリビジネス創出フェア2025にみどり戦略ブースを出展します。環境負荷低減の取組に役立つ情報を得たり、商談・交流を行う良い機会ですので、みどり認定者をはじめ、ご関心のある方は、ぜひご来場ください！

### セミナー

- ①11月27日（木）10:30～11:30
- ②11月27日（木）11:40～12:40

- ① 食料システム関係者の取組を連携・横展開  
～環境負荷低減した農産物の取扱拡大を実現～  
講演者：（株）サンプルザ・（株）坂ノ途中
- ② 農業分野におけるJ-クレジット制度の活用事例  
～環境配慮型の教育旅行と社会課題の解決に向けて～  
講演者：（株）日本旅行・（株）クボタ

### ブース

- 環境負荷低減の取組に役立つ草刈機・灌水施肥装置・自動攪拌機などの実機の展示や紹介
- 環境負荷低減した農産物を取り扱う流通・小売事業者との商談・交流

来場申込やイベント  
の詳細はこちら



### 3 環境負荷低減の「みえるらべる」の取得手続きが簡単になります！

環境負荷低減の「見える化」（ラベル愛称：みえるらべる）は、温室効果ガス削減と生物多様性保全への貢献を、取組の度合いに応じて算定シートで評価し、星の数でラベル表示する取組です。

このたび、環境負荷低減の見える化システムと連携した営農管理アプリで、「みえるらべる」を取得できるようになりました。

従来よりも簡単に「みえるらべる」を取得できますので、環境負荷低減の「見える化」に取り組みたい方は、ぜひご利用ください！

| 「みえるらべる」を取得できる<br>営農管理アプリ                                          | 対象品目                                           |
|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| クボタスマートアグリシステム<br>（（株）クボタ）                                         | 米<br>※温室効果ガス削減効果のみ                             |
| アグリノート<br>（ウォーターセル（株））                                             | 米<br>※温室効果ガス削減効果のみ                             |
| 担い手営農サポートシステム<br>（JA全農）<br>※当該連携は現在一部のJAに限られて<br>おりますが、順次拡大を検討中です。 | 米や野菜等23品目<br>※「見える化」対象品目24品目<br>のうちピーマンを除く23品目 |

※10月29日時点の情報で、連携する営農管理アプリは順次追加予定です。



[見える化システム  
はこちら](#)



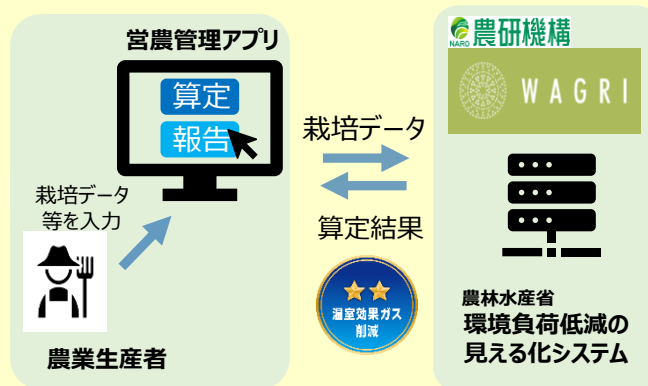
[「見える化」の詳細  
はこちら](#)

#### 💡「環境負荷低減の見える化システム」とは？

環境負荷低減の見える化システム（見える化システム）は、農産物の生産段階における温室効果ガスの排出量と吸収量を算定し、「みえるらべる」の表示に必要な等級と登録番号を自動で付与するものです。

見える化システムと連携した営農管理アプリを利用する方が「みえるらべる」を取得する場合、従来の簡易算定シート（Excel）の記入や、農林水産省へのメール報告が不要となり（※1）、「みえるらべる」の取得に要する時間の短縮や、算定シートを記入する負担の軽減などが期待されます。（※2）

※1：見える化システムを通じて登録番号を取得した後に農林水産省から事実確認や再算定のご連絡を行う場合があります。  
※2：見える化システムを使用せず、従来の簡易算定シート（Excel）による報告も引き続き可能です。



### 4 みどりの食料システム戦略グループの動き

#### （1）令和8年度予算概算要求の概要・税制改正要望の一覧を公表しました

令和8年度予算概算要求の概要を公表しました。みどりの事業活動を支える体制整備（みどりハード）をはじめ、みどりの食料システム戦略に基づく取組を推進するための予算を要求しています。

また、令和8年3月31日までの設備導入が対象となっているみどり投資促進税制を2年延長する要望を行っています。



[令和8年度  
予算概算要求の概要は  
こちら](#)

※今後の予算編成過程で、要求内容の変更があり得ますのでご注意ください。

## (2)基盤確立事業実施計画を認定しました

8月6日(水)、9月26日(金)に基盤確立事業者として以下の5社の新規認定、2社の変更認定を行いました。みどり投資促進税制対象機械カタログはこちらからご覧ください。



[みどり税制対象  
機械カタログはこちら](#)

### ○新規認定 研究開発・実証

#### (株) WAKU



グルタチオンの作用機序

植物の成長促進効果があるグルタチオン含有肥料を安価に製造する方法及び効果的な施用方法の研究開発

### 機械の生産・販売

#### (株) NTT e-Drone Technology



生育データに基づく肥料の  
可変散布が可能な  
農業用ドローン

【みどり税制対象機械】

#### ヤマハ発動機(株)



生育データに基づく肥料の  
可変散布が可能な  
農業用無人ヘリコプター

【みどり税制対象機械】

### ○変更認定 機械の生産・販売

#### (株) オーレック



果樹園での枝下・樹間除草が  
可能な乗用草刈機

【みどり税制対象機械】

#### 井関農機(株)・ (株) タイショー



生育データに基づく肥料の可変  
散布が可能な直進アシストトラ  
クタと高精度ソーワ

【みどり税制対象機械】

#### OATアグリオ(株)



土壌の養分や水分量に合わせ  
て自動で灌水施肥を行う  
養液土耕栽培システム

【みどり税制対象機械】

#### (株) IHIアグリテック



スリッスプレッダ



バキュームカー



有機マルチソーワ

【みどり税制対象機械】

### 【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ

みどりの  
食料シス  
テム戦  
略

みどり認定の最新情報をお届け！「みどり通信」